

通所リハが 175 件、介護療養施設利用、訪問介護と通所介護が 138 件、老人保健施設が 114 件、訪問介護と訪問入浴と福祉用具貸与が 111 件と続いた。100 件以上の組み合わせとして示されたのは、この 11 種類だった。ただし、全体の 14%にあたる 856 件は、1 件ずつ固有の組み合わせでサービスが提供されており、この他に多くの組み合わせがあることに留意しなければならない。

65 歳未満のよく利用するサービスの組み合わせで 100 件以上を示したのは 1 種類のサービスが多く、2 種類以上の場合は、福祉用具貸与と訪問介護との組み合わせが多かった。

表 III-2-7 65 歳未満に多いサービスの組み合わせ

サービス組合せ	N	%
訪介	1210	21.2
訪介-用貸	597	10.4
用貸	540	9.4
通介	316	5.5
通り-用貸	215	3.8
福施	191	3.3
通り	175	3.1
医施	138	2.4
訪介-通介	138	2.4
保施	114	2.0
訪介-訪入-用貸	111	1.9
訪介-通り	89	1.6
訪介-居指	84	1.5
訪介-用貸-居指	83	1.5
訪介-訪看-居指	78	1.4
訪介-通り-用貸	62	1.1
訪介-通介-居指	58	1.0
訪介-通介-用貸	47	0.8
痴共	47	0.8
訪介-訪看-用貸	46	0.8
通介-居指	45	0.8
訪看	38	0.7
通介-通り-用貸	38	0.7
通介-短生	37	0.6
訪入-訪看-用貸-居指	36	0.6

②65歳以上75歳未満に多いサービスの組み合わせ

訪問介護が最も多く6258件、老人福祉施設2747件、福祉用具貸与2711件、通所介護2596件、訪問介護と福祉用具貸与が2329件、老人保健施設が1655件、通所リハが1461件、介護療養施設が1360件、訪問介護と通所介護が1230件、通所リハと福祉用具貸与が819件、通所介護と福祉用具貸与が630件、訪問介護と通所介護と福祉用具貸与が597件、訪問介護と通所リハが559件、訪問介護と通所リハと福祉用具貸与が535件が500件以上で1%以上発生した組み合わせだった。65歳未満よりは、2種類以上のサービスを受けている割合が高かった。訪問介護との組み合わせが多いことが示されていた。ただし、全体の14.7%にあたる5338件は、1件ずつ固有の組み合わせでサービスが提供されており、この他に多くの組み合わせがあることがわかった。

表 III-2-8 65歳以上75歳未満に多いサービスの組み合わせ

サービス組合せ	65歳以上75歳未満	
	N	%
訪介	6258	17.2
福施	2747	7.5
用貸	2711	7.4
通介	2596	7.1
訪介-用貸	2329	6.4
保施	1655	4.5
通り	1461	4.0
医施	1360	3.7
訪介-通介	1230	3.4
通り-用貸	819	2.2
通介-用貸	630	1.7
訪介-通介-用貸	597	1.6
訪介-通り	559	1.5
訪介-通り-用貸	535	1.5
訪介-訪看	340	0.9
訪介-居指	329	0.9
特入	271	0.7
訪介-訪看-居指	263	0.7
訪看	255	0.7
訪介-訪看-用貸	243	0.7
通介-通り	239	0.7
訪看-用貸	213	0.6
通介-短生	212	0.6
訪介-用貸-居指	208	0.6

③75歳以上 85歳未満に多いサービスの組み合わせ

訪問介護が最も多く 12151 件、老人福祉施設 9521 件、通所介護 8004 件、老人保健施設が 6154 件、訪問介護と福祉用具貸与が 4319 件、通所リハが 4172 件、福祉用具貸与が 4142 件、介護療養施設が 3621 件、訪問介護と通所介護が 2901 件、通所介護と福祉用具貸与が 1842 件、通所リハと福祉用具貸与が 1408 件、訪問介護と通所介護と福祉用具貸与が 1232 件、訪問介護と通所リハが 1177 件、特定施設入所者生活介護が 1168 件、訪問介護と居宅療養管理指導が 1020 件が 1000 件以上で 1%以上発生した組み合わせだった。

65歳以上 75歳未満よりは、2種類以上のサービスを受けている割合が低かった。通所介護との組み合わせが 75歳未満の年齢層に比較して多いことが示されていた。ただし、全体の 12.5%にあたる 10785 件は、1 件ずつ固有の組み合わせでサービスが提供されており、この他に多くの組み合わせがあることがわかった。

表 III-2-9 75歳以上 85歳未満に多いサービスの組み合わせ

サービス組合せ	75歳以上85歳未満	
	N	%
訪介	12151	14
福施	9521	11
通介	8004	9
保施	6154	7
訪介-用貸	4319	5
通り	4172	5
用貸	4142	5
医施	3621	4
訪介-通介	2901	3
通介-用貸	1842	2
通り-用貸	1408	2
訪介-通介-用貸	1232	1
訪介-通り	1177	1
特入	1168	1
訪介-居指	1020	1
通介-短生	978	1
訪介-通り-用貸	797	1
通介-通り	728	1
通介-居指	564	1
居指-痴共	552	1
訪介-用貸-居指	532	1
痴共	529	1
訪介-訪看	525	1

④85歳以上95歳未満に多いサービスの組み合わせ

老人福祉施設が最も多く10955件、次いで通所介護が7997件、老人保健施設が6969件、訪問介護が6665件、通所リハが4128件、介護療養施設が3613件と85歳未満に比較すると顕著に入所施設と通所施設の利用が多くなっていた。

訪問介護と福祉用具貸与が2537件で福祉用具貸与は2279件、通所介護と福祉用具貸与が2091件、訪問介護と通所介護が1866件、通所リハと福祉用具貸与が1132件、訪問介護と通所介護と福祉用具貸与が1091件等のように、これらのサービスの組み合わせは、75歳以上85歳未満よりも少なく訪問と通所よりも施設利用者が多いことを示唆していた。

特定施設入所者生活介護が1571件、通所介護と短期入所生活介護が1225件等は、85歳未満よりも多く利用されていた。

75歳以上85歳未満に比較すると2種類以上のサービスを受けている割合は低かった。これは、入所者が多いことを示していると考えられた。この年齢階層でも10814件、13.6%が1件ずつ固有の組み合わせでサービスが提供されており、この他に多くの組み合わせがあった。

表 III-2-10 85歳以上95歳未満に多いサービスの組み合わせ

サービス組合せ	85歳以上95歳未満	
	N	%
福施	10955	13.8
通介	7997	10.1
保施	6969	8.8
訪介	6665	8.4
通り	4128	5.2
医施	3613	4.6
訪介-用貸	2537	3.2
用貸	2279	2.9
通介-用貸	2091	2.6
訪介-通介	1866	2.4
特入	1571	2.0
通介-短生	1225	1.5
通り-用貸	1132	1.4
訪介-通介-用貸	1091	1.4
訪介-通り	821	1.0
訪介-居指	789	1.0
通介-通り	750	0.9
通介-用貸-短生	686	0.9
訪介-用貸-居指	646	0.8
訪介-通り-用貸	601	0.8
痴共	564	0.7
通り-短保	555	0.7

⑤95歳以上に多いサービスの組み合わせ

老人福祉施設が最も多く 2008 件、次いで老人保健施設が 794 件、介護療養施設が 791 件、通所介護が 580 件、訪問介護が 341 件、訪問介護と福祉用具貸与が 250 件、特定施設入所者生活介護が 238 件、福祉用具貸与が 219 件、通所リハが 141 件と 85 歳以上 95 歳未満と同様に入所施設の利用が多いことが特徴と考えられた。

この年齢階層では、他の年齢階層では多くなかった訪問入浴と訪問看護と福祉用具貸与の組み合わせや通所介護と短期入所生活介護が上位に示されていた。

この年齢階層でも 1366 件、15.8%が 1 件ずつ固有の組み合わせでサービスが提供されており、この他に多くの組み合わせがあった。

表 III-2-11 85 歳以上 95 歳未満に多いサービスの組み合わせ

サービス組合せ	95 歳 以上	
	N	%
福 施	2008	23.3
保 施	794	9.2
医 施	791	9.2
通 介	580	6.7
訪 介	341	4.0
訪 介 - 用 貸	250	2.9
特 入	238	2.8
用 貸	219	2.5
通 り	141	1.6
訪 介 - 通 介	127	1.5
訪 入 - 訪 看 - 用 貸 - 居 指	122	1.4
通 介 - 短 生	113	1.3
訪 介 - 通 介 - 用 貸	110	1.3
通 り - 用 貸	101	1.2
通 介 - 用 貸	99	1.1
訪 看 - 用 貸 - 居 指	76	0.9
通 介 - 用 貸 - 短 生	72	0.8
訪 看 - 居 指	71	0.8
訪 入	71	0.8
訪 入 - 用 貸	67	0.8
訪 看 - 用 貸	66	0.8
通 り - 用 貸 - 短 保	64	0.7
訪 介 - 訪 入 - 訪 看 - 用 貸 - 居 指	59	0.7
通 介 - 居 指	58	0.7
訪 介 - 訪 看 - 用 貸	55	0.6
用 貸 - 居 指	53	0.6
訪 介 - 訪 入 - 用 貸	52	0.6
訪 介 - 居 指	49	0.6
訪 看	45	0.5
居 指	44	0.5
短 生	36	0.4
訪 介 - 訪 看 - 用 貸 - 居 指	35	0.4
訪 介 - 通 介 - 用 貸 - 短 生	33	0.4
通 介 - 用 貸 - 居 指	31	0.4

表 III-2-12 サービス種類の組合せと年齢階層の関係 (上位 30)

順序	サービス組合せ	65 歳未満		65 歳以上 75 歳未満		75 歳以上 85 歳未満		85 歳以上 95 歳未満		95 歳以上		合計	
		N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
		1	訪介	1210	4.5	6258	23.5	12151	45.6	6665	25.0	341	1.3
2	福祉	191	0.8	2747	10.8	9521	37.5	10955	43.1	2008	7.9	25422	100.0
3	通介	316	1.6	2596	13.3	8004	41.1	7997	41.0	580	3.0	19493	100.0
4	保施	114	0.7	1655	10.6	6154	39.2	6969	44.4	794	5.1	15686	100.0
5	通り	175	1.7	1461	14.5	4172	41.4	4128	41.0	141	1.4	10077	100.0
6	訪介・用貸	597	6.0	2329	23.2	4319	43.1	2537	25.3	250	2.5	10032	100.0
7	用貸	540	5.5	2711	27.4	4142	41.9	2279	23.0	219	2.2	9891	100.0
8	医施	138	1.4	1360	14.3	3621	38.0	3613	37.9	791	8.3	9523	100.0
9	訪介・通介	138	2.2	1230	19.6	2901	46.3	1866	29.8	127	2.0	6262	100.0
10	通介・用貸	21	0.4	630	13.5	1842	39.3	2091	44.7	99	2.1	4683	100.0
11	通り・用貸	215	5.9	819	22.3	1408	38.3	1132	30.8	101	2.7	3675	100.0
12	特入	12	0.4	271	8.3	1168	35.8	1571	48.2	238	7.3	3260	100.0
13	訪介・通介・用貸	47	1.5	597	19.4	1232	40.0	1091	35.5	110	3.6	3077	100.0
14	訪介・通り	89	3.4	559	21.1	1177	44.3	821	30.9	9	0.3	2655	100.0
15	通介・短生	37	1.4	212	8.3	978	38.1	1225	47.8	113	4.4	2565	100.0
16	訪介・居指	84	3.7	329	14.5	1020	44.9	789	34.7	49	2.2	2271	100.0
17	訪介・通り・用貸	62	3.1	535	26.7	797	39.7	601	30.0	11	0.5	2006	100.0
18	通介・通り	26	1.5	239	13.5	728	41.2	750	42.4	24	1.4	1767	100.0
19	訪介・用貸・居指	83	5.6	208	13.9	532	35.6	646	43.2	25	1.7	1494	100.0
20	通介・居指	45	3.4	185	14.1	564	43.1	458	35.0	58	4.4	1310	100.0
21	痴共	47	3.8	92	7.4	529	42.5	564	45.3	13	1.0	1245	100.0
22	訪介・訪看	18	1.5	340	27.9	525	43.0	330	27.0	7	0.6	1220	100.0
23	訪看	38	3.2	255	21.6	441	37.3	402	34.0	45	3.8	1181	100.0
24	居指・痴共	0	0.0	107	9.3	552	48.2	481	42.0	6	0.5	1146	100.0
25	訪介・訪看・用貸	46	4.1	243	21.6	423	37.6	358	31.8	55	4.9	1125	100.0
26	通介・用貸・短生	13	1.2	87	7.9	245	22.2	686	62.2	72	6.5	1103	100.0
27	訪介・訪看・用貸・居指	19	1.8	178	16.7	364	34.2	468	44.0	35	3.3	1064	100.0
28	訪介・訪看・居指	78	7.3	263	24.7	367	34.5	343	32.3	12	1.1	1063	100.0
29	通り・短保	3	0.3	116	12.1	270	28.2	555	57.9	15	1.6	959	100.0
30	訪看・居指	0	0.0	195	20.4	292	30.6	396	41.5	71	7.4	954	100.0

(5) 要介護度別サービスの組み合わせ

1) 要支援に多いサービスの組み合わせ

上位の 1000 件以上を示したサービスは、訪問介護 10190 件、通所介護 4163 件、福祉用具貸与 1693 件、通所リハ 1508 件の 1 種類と訪問介護および福祉用具貸与の 1427 件であつ

た。全体の 43%が訪問介護の 1 種類のサービスが実施され、これに通所介護のみを加えて 6 割以上を示していた。複数のサービス利用は、訪問介護と福祉用具あるいは、訪問介護と通所介護であり、これらが約 1 割を占めていた。

表 III-2-13 要支援に多いサービスの組み合わせ (上位 20)

順位	サービス組合せ	N	%
1	訪介	10190	43.0
2	通介	4163	17.6
3	用貸	1693	7.1
4	通り	1508	6.4
5	訪介-用貸	1427	6.0
6	訪介-通介	817	3.4
7	特入	516	2.2
8	訪介-居指	453	1.9
9	通介-用貸	249	1.1
10	通介-通り	215	0.9
11	訪介-通り	211	0.9
12	福祉	163	0.7
13	訪介-訪看	149	0.6
14	訪看	141	0.6
15	居指	137	0.6
16	訪介-通介-用貸	130	0.5
17	通介-居指	115	0.5
18	訪介-用貸-居指	113	0.5
19	訪介-訪看-居指	75	0.3
20	通り-居指	75	0.3

2)要介護1に多いサービスの組み合わせ

全体の2割を占めた訪問介護が11512件と最も多く、通所介護7465件、訪問介護および福祉用具貸与が4505件、福祉用具貸与3982件、通所リハ3898件が多かった。

サービスの複数の組み合わせの中では、要支援と同様に、訪問介護と福祉用具貸与、訪問介護と通所介護が多かった。要介護1では痴呆対応型共同生活介護が460件と示された。また、その他のサービスとして示された固有のサービスパターンの割合は、7.8%示され、要支援よりも高かった。

表 III-2-14 要介護1に多いサービスの組み合わせ (上位20)

	サービス組合せ	要介護1	
		N	%
1	訪介	11512	20.0
2	通介	7465	12.9
3	訪介-用貸	4505	7.8
4	用貸	3982	6.9
5	通り	3898	6.8
6	福施	2873	5.0
7	訪介-通介	2621	4.5
8	保施	1574	2.7
9	通介-用貸	1289	2.2
10	訪介-通り	1140	2.0
11	特入	1085	1.9
12	訪介-居指	981	1.7
13	訪介-通介-用貸	918	1.6
14	通り-用貸	822	1.4
15	通介-通り	726	1.3
16	訪介-通り-用貸	551	1.0
17	通介-短生	510	0.9
18	通介-居指	478	0.8
19	痴共	460	0.8
20	訪介-訪看	440	0.8

3)要介護2に多いサービスの組み合わせ

通所介護が最も多く5369件で11.0%、次いで老人福祉施設4778件で9.8%、老人保健施設が4524件で9.3%、訪問介護が3315件で6.8%、通所リハが3067件で6.3%と上位5位まではすべて1種類のサービスであった。また、要介護1に比較すると入所施設の利用が多かった。

2種類の組み合わせとして多かったのは、訪問介護と福祉用具貸与2415件5.0%、訪問介護と通所介護1591件3.3%、通所介護と福祉用具貸与1466件3.0%、通所リハと福祉用具貸与1204件2.5%、通所介護と短期入所生活介護等が示され通所サービスと組み合わせたサービスが多いことが示された。

サービスの複数の組み合わせは、多くなかった。要介護2では居宅療養管理指導と痴呆対応型共同生活介護が574件と示されていた。

また、その他のサービスとして示された固有のサービスパターンの割合は、11.6%示され、要支援、要介護1よりもさらに高い割合を示していた。

表 III-2-15 要介護2に多いサービスの組み合わせ

順位	サービス組合せ	要介護2	
		N	%
1	通介	5369	11.0
2	福施	4778	9.8
3	保施	4524	9.3
4	訪介	3315	6.8
5	通り	3067	6.3
6	訪介-用貸	2415	5.0
7	用貸	2259	4.6
8	訪介-通介	1591	3.3
9	通介-用貸	1466	3.0
10	通り-用貸	1204	2.5
11	訪介-通介-用貸	1044	2.1
12	医施	888	1.8
13	通介-短生	880	1.8
14	訪介-通り	783	1.6
15	特入	668	1.4
16	訪介-通り-用貸	613	1.3
17	居指-痴共	574	1.2
18	通介-通り	506	1.0
19	訪介-用貸-居指	474	1.0
20	訪介-居指	451	0.9

4)要介護3に多いサービスの組み合わせ

老人福祉施設が5556件で16.4%、老人保健施設が4213件で12.4%と入所施設の利用が増加し、約3割を占めていた。次いで、通所介護1683件5.0%、通所リハ1202件3.5%と通

所施設の利用が多く、福祉用具貸与が 1166 件 3.4%と示された。訪問介護は 1106 件 3.3%と要介護 2 よりも占める割合は減少していた。

2 種類の組み合わせとして多かったのは、通所リハと福祉用具貸与 1068 件 3.2%、訪問介護と福祉用具貸与 1040 件 3.1%、通所介護と福祉用具貸与 923 件 2.7%、訪問介護と通所介護 822 件 2.4%、通所介護と短期入所生活介護 674 件 2.0%、訪問介護と通所リハ 339 件 1.0%等が示され、福祉用具貸与と訪問あるいは通所系サービスとの組み合わせが多いことが示された。

3 種類以上のサービスが組み合わせられたパターンは上位 20 位中に 3 パターン示された。このパターンは、訪問介護と福祉用具貸与に通所介護あるいは、通所リハを組み合わせたパターンが多かった。この他には、短期入所生活介護や短期入所療養介護（老人保健施設）を組み合わせた利用が示されていた。

また、その他のサービスとして示された固有のサービスパターンの割合は、17.9%示され、要支援、要介護 1 よりもさらに高い割合を示していた。

表 III-2-16 要介護 3 に多いサービスの組み合わせ

	サービス組合せ	要介護3	
		N	%
1	福祉	5556	16.4
2	保施	4213	12.4
3	通介	1683	5.0
4	通り	1202	3.5
5	用貸	1166	3.4
6	訪介	1106	3.3
7	通り-用貸	1068	3.2
8	訪介-用貸	1040	3.1
9	医施	997	2.9
10	通介-用貸	923	2.7
11	訪介-通介	822	2.4
12	通介-短生	674	2.0
13	訪介-通介-用貸	524	1.5
14	訪介-通り-用貸	410	1.2
15	訪介-通り	339	1.0
16	特入	335	1.0
17	通り-短保	306	0.9
18	通介-用貸-短生	301	0.9
19	居指-痴共	271	0.8
20	痴共	242	0.7

5)要介護4に多いサービスの組み合わせ

老人福祉施設が6221件で22.4%、老人保健施設が3742件で13.5%、介護療養施設が2973件で10.7%とと入所施設の利用が増加し、46.6%を占めていた。通所介護573件2.1%、福祉用具貸与490件1.8%で上位は、入所施設と通所あるいは、福祉用具貸与と示された。

2種類の組み合わせとして多かったのは、通所介護と福祉用具貸与576件2.1%、訪問介護と福祉用具貸与437件1.6%、通所リハと福祉用具貸与426件1.5%、訪問入浴と福祉用具貸与316件1.1%と福祉用具貸与との組み合わせが多かった。

3種類以上のサービスが組み合わせられたパターンは上位20位中に6パターン示され、要介護3以下よりもより組み合わせが多いパターンを利用する割合が高くなっていった。このパターンは、訪問介護と福祉用具貸与に通所介護あるいは、通所リハを組み合わせた通所系サービスとの組み合わせパターンと訪問看護、訪問入浴といった訪問系サービスとの組み合わせあるいは、短期生活入所との組み合わせとして示された。

また、その他のサービスとして示された固有のサービスパターンの割合は、21.4%示され、要支援、要介護1、2よりもさらに高い割合を示していた。

表 III-2-17 要介護4に多いサービスの組み合わせ

	サービス組合せ	要介護4	
		N	%
1	福施	6221	22.4
2	保施	3742	13.5
3	医施	2973	10.7
4	通介-用貸	576	2.1
5	通介	573	2.1
6	用貸	490	1.8
7	訪介-用貸	437	1.6
8	通り-用貸	426	1.5
9	特入	376	1.4
10	訪介	364	1.3
11	訪介-通り-用貸	341	1.2
12	訪入-用貸	316	1.1
13	訪介-通介-用貸	309	1.1
14	通介-短生	302	1.1
15	通り	265	1.0
16	通介-用貸-短生	264	0.9
17	訪介-通介	259	0.9
18	訪介-訪看-用貸	224	0.8
19	訪介-訪入-用貸	215	0.8
20	通り-用貸-短保	183	0.7

6)要介護5に多いサービスの組み合わせ

老人福祉施設が5819件で23.7%、介護療養施設が4244件で17.3%、老人保健施設が1633件で6.6%と入所施設の利用が増加し47.6%を占め、ほぼ要介護4と同程度に入所系サービスを利用していた。

要介護5では、上位3パターンに続いて、訪問介護と訪問入浴と訪問看護と福祉用具貸与と居宅療養指導という5種類のサービスの組み合わせが607件で2.5%、訪問入浴と訪問看護、福祉用具貸与、居宅療養管理指導という4種類のサービスの組み合わせが続き、さらに訪問介護と訪問入浴と福祉用具貸与という3種類のサービスの組み合わせが示され、訪問入浴がサービスの組み合わせとして初めて上位に示されていた。

他の要介護度で多く示された訪問介護のみは、20位以内に示されなかったが通所介護が240件1.0%と示された。1種類だけのサービスとして訪問入浴215件0.9%と示され、他の要介護度よりも要介護5での利用が多いことが推察された。

2種類の組み合わせとして多かったのは、訪問介護と福祉用具貸与208件0.8%、訪問看護と福祉用具貸与182件0.7%、通所介護と福祉用具貸与180件0.7%、訪問入浴と福祉用具貸与172件0.7%と福祉用具貸与との組み合わせが多かったが要介護4には示されていた通所リハと福祉用具貸与は上位にはなかった。

3種類以上のサービスが組み合わせられたパターンは上位20位中に8パターン示され、要介護4以下よりもより組み合わせが多いパターンの利用割合が高くなっていた。要介護5では、4種類以上の組み合わせも他の要介護度よりも多く、その他のサービスとして示された固有のサービスパターンの割合は、25.4%示され高い割合を示していた。

表 III-2-18 要介護5に多いサービスの組み合わせ

	サービス組合せ	要介護5	
		N	%
1	福祉施設	5819	23.7
2	医施設	4244	17.3
3	保施設	1633	6.6
4	訪介-訪入-訪看-用貸-居指	607	2.5
5	訪入-訪看-用貸-居指	530	2.2
6	訪介-訪入-用貸	393	1.6
7	用貸	301	1.2
8	特入	280	1.1
9	訪介-訪看-用貸-居指	252	1.0
10	通介	240	1.0
11	訪入	215	0.9
12	訪介-用貸	208	0.8
13	訪看-用貸	182	0.7
14	通介-用貸	180	0.7
15	訪介-通介-用貸-短生	180	0.7
16	通介-用貸-短生	177	0.7
17	訪看-用貸-居指	173	0.7
18	訪入-用貸	172	0.7
19	訪介-通介	152	0.6
20	訪介-通介-用貸	152	0.6

表 III-2-19 サービス種類の組合せと要介護度との関係（上位 30）

順位	サービス組合せ	非該当		要支援		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		合計	
		N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
1	訪介	0	0.00	10190	38.3	11512	43.2	3315	12.5	1106	4.2	364	1.4	138	0.5	26625	100.0
2	福祉	12	0.05	163	0.6	2873	11.3	4778	18.8	5556	21.9	6221	24.5	5819	22.9	25422	100.0
3	通介	0	0.00	4163	21.4	7465	38.3	5369	27.5	1683	8.6	573	2.9	240	1.2	19493	100.0
4	保施	0	0.00	0	0.0	1574	10.0	4524	28.8	4213	26.9	3742	23.9	1633	10.4	15686	100.0
5	通り	0	0.00	1508	15.0	3898	38.7	3067	30.4	1202	11.9	265	2.6	137	1.4	10077	100.0
6	訪介・用貸	0	0.00	1427	14.2	4505	44.9	2415	24.1	1040	10.4	437	4.4	208	2.1	10032	100.0
7	用貸	0	0.00	1693	17.1	3982	40.3	2259	22.8	1166	11.8	490	5.0	301	3.0	9891	100.0
8	医施	0	0.00	0	0.0	421	4.4	888	9.3	997	10.5	2973	31.2	4244	44.6	9523	100.0
9	訪介・通介	0	0.00	817	13.0	2621	41.9	1591	25.4	822	13.1	259	4.1	152	2.4	6262	100.0
10	通介・用貸	0	0.00	249	5.3	1289	27.5	1466	31.3	923	19.7	576	12.3	180	3.8	4683	100.0
11	通り・用貸	0	0.00	46	1.3	822	22.4	1204	32.8	1068	29.1	426	11.6	109	3.0	3675	100.0
12	特入	0	0.00	516	15.8	1085	33.3	668	20.5	335	10.3	376	11.5	280	8.6	3260	100.0
13	訪介・通介・用貸	0	0.00	130	4.2	918	29.8	1044	33.9	524	17.0	309	10.0	152	4.9	3077	100.0
14	訪介・通り	0	0.00	211	7.9	1140	42.9	783	29.5	339	12.8	133	5.0	49	1.8	2655	100.0
15	通介・短生	0	0.00	55	2.1	510	19.9	880	34.3	674	26.3	302	11.8	144	5.6	2565	100.0
16	訪介・居指	0	0.00	453	19.9	981	43.2	451	19.9	144	6.3	135	5.9	107	4.7	2271	100.0
17	訪介・通り・用貸	0	0.00	37	1.8	551	27.5	613	30.6	410	20.4	341	17.0	54	2.7	2006	100.0
18	通介・通り	0	0.00	215	12.2	726	41.1	506	28.6	212	12.0	61	3.5	47	2.7	1767	100.0
19	訪介・用貸・居指	0	0.00	113	7.6	396	26.5	474	31.7	231	15.5	162	10.8	118	7.9	1494	100.0
20	通介・居指	0	0.00	115	8.8	478	36.5	419	32.0	125	9.5	129	9.8	44	3.4	1310	100.0
21	痴共	0	0.00	0	0.0	460	36.9	424	34.1	242	19.4	104	8.4	15	1.2	1245	100.0
22	訪介・訪看	0	0.00	149	12.2	440	36.1	348	28.5	173	14.2	35	2.9	75	6.1	1220	100.0
23	訪看	0	0.00	141	11.9	388	32.9	290	24.6	165	14.0	94	8.0	103	8.7	1181	100.0
24	居指・痴共	0	0.00	0	0.0	244	21.3	574	50.1	271	23.6	39	3.4	18	1.6	1146	100.0
25	訪介・訪看・用貸	0	0.00	16	1.4	222	19.7	318	28.3	241	21.4	224	19.9	104	9.2	1125	100.0
26	通介・用貸・短生	0	0.00	4	0.4	106	9.6	251	22.8	301	27.3	264	23.9	177	16.0	1103	100.0
27	訪介・訪看・用貸・居指	0	0.00	3	0.3	206	19.4	244	22.9	236	22.2	123	11.6	252	23.7	1064	100.0
28	訪介・訪看・居指	0	0.00	75	7.1	300	28.2	304	28.6	155	14.6	101	9.5	128	12.0	1063	100.0
29	通り・短保	0	0.00	16	1.7	184	19.2	320	33.4	306	31.9	103	10.7	30	3.1	959	100.0
30	訪看・居指	0	0.00	53	5.6	356	37.3	218	22.9	105	11.0	121	12.7	101	10.6	954	100.0

1) サービス組み合わせの経年的変化

サービス組み合わせの上位の経年的変化を分析した。平成 12 年度の上位 6 位は、順に 1 : 老人福祉施設、2 : 訪問介護、3 : 老人保健施設、4 : 通所介護。5 : 通所リハ、6 : 介護療養施設と示され、これらは、すべて平成 15 年度においても上位を占めていた。老人福祉施設と訪問介護は、平成 13 年度に順位が逆転した後は、訪問介護が多かった。低下傾向

を示したのは、老人保健施設、通所リハであった。通所介護は一定であり、介護療養施設もほとんど変わらなかった。

サービスの組合わせとして増えたのは訪問介護と福祉用具貸与、通所介護と福祉用具貸与等の福祉用具貸与を組み合わせたサービスが増加していることが明らかにされた。とくに、通所介護と福祉用具貸与は、平成 14 年度から 15 年度に大きく増加していた。痴呆対応型生活介護も平成 12 年度は、0 であったが平成 14 年、15 年と大きく増えていたサービスであった。訪問介護と通所介護の組み合わせは一定の割合であった。

平成 15 年度の介護報酬改定でサービスを 4 種類以上組み合わせた場合には、居宅介護支援に加算がなされることになった。4 種類以上の組み合わせは、上位においては、ほとんど変動がなく、平成 12 年は 544 件で 1.3%、13 年度 671 件、1.4%、14 年度 1255 件で 2.2%、平成 15 年度は、1238 件で 1.8%と示され、14 年度から 15 年度にかけて、若干、その割合は低下していた。

表 III-2-20 サービスの組み合わせに関する経年的変化

順位	サービス組合せ	平成12年度		サービス組合せ	平成13年度		サービス組合せ	平成14年度		サービス組合せ	平成15年度	
		N	%		N	%		N	%		N	%
1	福祉	5635	13.9	訪介	6033	12.1	訪介	7106	12.0	訪介	8376	12.6
2	訪介	5110	12.6	福祉	5902	11.9	福祉	6794	11.4	福祉	7091	10.6
3	保施	3835	9.4	通介	4524	9.1	通介	5227	8.8	通介	5955	8.9
4	通介	3787	9.3	保施	4250	8.6	保施	3887	6.5	訪介-用貸	3865	5.8
5	通り	2571	6.3	通り	2648	5.3	用貸	2997	5.0	用貸	3747	5.6
6	医施	2036	5.0	訪介-用貸	2039	4.1	訪介-用貸	2910	4.9	保施	3714	5.6
7	訪介-用貸	1218	3.0	用貸	2001	4.0	医施	2612	4.4	医施	2973	4.5
8	訪介-通介	1160	2.9	医施	1902	3.8	通り	2469	4.2	通り	2389	3.6
9	用貸	1146	2.8	訪介-通介	1469	3.0	訪介-通介	1719	2.9	通介-用貸	1933	2.9
10	訪介-通り	576	1.4	通介-用貸	918	1.8	通介-用貸	1323	2.2	訪介-通介	1914	2.9
11	訪介-居指	552	1.4	通り-用貸	868	1.7	通り-用貸	1152	1.9	訪介-通介-用貸	1404	2.1
12	特入	535	1.3	訪介-通り	729	1.5	特入	895	1.5	通り-用貸	1255	1.9
13	通介-用貸	509	1.3	特入	700	1.4	訪介-通介-用貸	885	1.5	特入	1130	1.7
14	通介-短生	486	1.2	通介-短生	560	1.1	訪介-通り	771	1.3	痲共	830	1.2
15	通介-通り	414	1.0	訪介-居指	540	1.1	通介-短生	729	1.2	通介-短生	790	1.2
16	通り-用貸	400	1.0	通介-通り	486	1.0	訪介-通り-用貸	693	1.2	訪介-通り-用貸	657	1.0
17	訪看-居指	390	1.0	訪介-通介-用貸	469	0.9	訪介-居指	643	1.1	訪介-通り	579	0.9
18	訪介-訪看-居指	340	0.8	訪介-通り-用貸	468	0.9	通介-通り	460	0.8	居指-痲共	579	0.9
19	訪介-通介-用貸	319	0.8	訪介-用貸-居指	411	0.8	訪介-用貸-居指	422	0.7	訪介-居指	536	0.8
20	通介-居指	298	0.7	通介-居指	385	0.8	居指-痲共	368	0.6	通介-用貸-短生	492	0.7
21	訪介-訪看	293	0.7	訪介-訪看	290	0.6	痲共	361	0.6	通介-通り	407	0.6
22	訪看	273	0.7	訪看	269	0.5	通介-居指	345	0.6	訪介-用貸-居指	405	0.6
23	訪介-用貸-居指	256	0.6	訪介-訪看-用貸	269	0.5	訪介-訪看-用貸	332	0.6	訪介-訪看-用貸	375	0.6
24	短生	252	0.6	訪介-訪看-居指	268	0.5	通介-用貸-短生	316	0.5	訪介-訪看	372	0.6
25	訪入	252	0.6	訪看-居指	256	0.5	訪介-訪看-用貸-居指	309	0.5	訪看	349	0.5
26	居指	190	0.5	訪介-訪看-用貸-居指	236	0.5	通り-短保	300	0.5	訪介-訪看-用貸-居指	349	0.5
27	通り-居指	189	0.5	訪介-通介-居指	229	0.5	訪看	290	0.5	訪介-訪入-用貸	340	0.5
28	訪介-通り-用貸	188	0.5	通り-短保	223	0.4	訪看-用貸	286	0.5	訪看-用貸	337	0.5
29	訪看-用貸-居指	185	0.5	短生	214	0.4	訪介-訪入-訪看-用貸-居指	286	0.5	用貸-居指	317	0.5
30	通り-短保	175	0.4	用貸-居指	204	0.4	訪入-用貸	278	0.5	通介-通り-用貸	309	0.5
31	訪入-訪看-用貸-居指	174	0.4	居指	203	0.4	訪介-訪看	265	0.4	訪入-用貸	298	0.4
32	訪介-通介-居指	171	0.4	通介-用貸-短生	198	0.4	訪介-訪看-居指	244	0.4	通介-居指	282	0.4
33	訪介-訪看-用貸-居指	170	0.4	訪看-用貸-居指	195	0.4	居指-特入	242	0.4	通り-短保	261	0.4
34	訪介-訪看-用貸	149	0.4	訪入	190	0.4	訪入-訪看-用貸-居指	238	0.4	訪介-通介-用貸-短生	251	0.4
35	訪介-通介-短生	147	0.4	訪看-用貸	182	0.4	用貸-居指	234	0.4	通り-用貸-短保	248	0.4
36	用貸-居指	119	0.3	訪介-訪入-訪看-用貸-居指	180	0.4	訪介-通介-短生	234	0.4	訪介-通介-短生	243	0.4
37	訪看-用貸	110	0.3	訪介-訪入-用貸	174	0.4	訪介-訪入-用貸	221	0.4	居指	234	0.4
38	訪入-用貸	99	0.2	訪入-訪看-用貸-居指	174	0.4	訪介-通介-用貸-居指	212	0.4	訪介-訪入-訪看-用貸-居指	229	0.3
39	通介-用貸-短生	97	0.2	通り-短生	166	0.3	訪介-通介-用貸-短生	210	0.4	居指-特入	215	0.3
40	訪介-訪入-用貸	94	0.2	訪入-用貸	164	0.3	通介-用貸-居指	203	0.3	短生	213	0.3
41	通り-短生	85	0.2	居指-痲共	157	0.3	通り-用貸-短保	199	0.3	訪介-訪看-居指	211	0.3
42	訪介-訪入-訪看-用貸-居指	82	0.2	通り-用貸-短保	140	0.3	短生	195	0.3	訪介-通介-用貸-居指	211	0.3
43	訪介-通介-用貸-居指	65	0.2	訪介-通介-短生	139	0.3	居指	194	0.3	通介-用貸-居指	205	0.3
44	訪介-通介-用貸-短生	53	0.1	訪介-通介-用貸-短生	131	0.3	訪入	192	0.3	訪入-訪看-用貸-居指	198	0.3
45	通介-用貸-居指	52	0.1	通介-用貸-居指	131	0.3	訪看-居指	187	0.3	訪看-用貸-居指	179	0.3
46	居指-痲共	42	0.1	通り-居指	128	0.3	訪看-用貸-居指	178	0.3	訪介-通介-居指	163	0.2
47	通り-用貸-短保	42	0.1	訪介-通介-用貸-居指	124	0.2	訪介-通介-居指	177	0.3	通り-短生	156	0.2
48	通介-通り-用貸	36	0.1	居指-特入	107	0.2	通介-通り-用貸	176	0.3	訪看-居指	121	0.2
49	居指-特入	14	0.0	通介-通り-用貸	105	0.2	通り-短生	144	0.2	訪入	112	0.2
50	痲共	10	0.0	痲共	44	0.1	通り-居指	109	0.2	通り-居指	97	0.1
-	その他	5244	12.9	その他	6904	13.9	その他	8238	13.9	その他	8773	13.2
	サービス4種類以上の割合	544	1.3	サービス4種類以上の割合	671	1.4	サービス4種類以上の割合	1255	2.2	サービス4種類以上の割合	1238	1.8
	合計	40625	100.0		49696	100.0		59457	100.0		66669	100.0

表 III-2-21 サービス種類の組合せとサービス提供年度との関係（上位 30）

順序	サービス組合せ	平成 12 年度		平成 13 年度		平成 14 年度		平成 15 年度		合計	
		N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
1	訪介	5110	12.6	6033	12.1	7106	12.0	8376	12.6	26625	12.3
2	福祉	5635	13.9	5902	11.9	6794	11.4	7091	10.6	25422	11.7
3	通介	3787	9.3	4524	9.1	5227	8.8	5955	8.9	19493	9.0
4	保施	3835	9.4	4250	8.6	3887	6.5	3714	5.6	15686	7.2
5	通り	2571	6.3	2648	5.3	2469	4.2	2389	3.6	10077	4.7
6	訪介・用貸	1218	3.0	2039	4.1	2910	4.9	3865	5.8	10032	4.6
7	用貸	1146	2.8	2001	4.0	2997	5.0	3747	5.6	9891	4.6
8	医施	2036	5.0	1902	3.8	2612	4.4	2973	4.5	9523	4.4
9	訪介・通介	1160	2.9	1469	3.0	1719	2.9	1914	2.9	6262	2.9
10	通介・用貸	509	1.3	918	1.8	1323	2.2	1933	2.9	4683	2.2
11	通り・用貸	400	1.0	868	1.7	1152	1.9	1255	1.9	3675	1.7
12	特入	535	1.3	700	1.4	895	1.5	1130	1.7	3260	1.5
13	訪介・通介・用貸	319	0.8	469	0.9	885	1.5	1404	2.1	3077	1.4
14	訪介・通り	576	1.4	729	1.5	771	1.3	579	0.9	2655	1.2
15	通介・短生	486	1.2	560	1.1	729	1.2	790	1.2	2565	1.2
16	訪介・居指	552	1.4	540	1.1	643	1.1	536	0.8	2271	1.0
17	訪介・通り・用貸	188	0.5	468	0.9	693	1.2	657	1.0	2006	0.9
18	通介・通り	414	1.0	486	1.0	460	0.8	407	0.6	1767	0.8
19	訪介・用貸・居指	256	0.6	411	0.8	422	0.7	405	0.6	1494	0.7
20	通介・居指	298	0.7	385	0.8	345	0.6	282	0.4	1310	0.6
21	痴共	10	0.0	44	0.1	361	0.6	830	1.2	1245	0.6
22	訪介・訪看	293	0.7	290	0.6	265	0.4	372	0.6	1220	0.6
23	訪看	273	0.7	269	0.5	290	0.5	349	0.5	1181	0.5
24	居指・痴共	42	0.1	157	0.3	368	0.6	579	0.9	1146	0.5
25	訪介・訪看・用貸	149	0.4	269	0.5	332	0.6	375	0.6	1125	0.5
26	通介・用貸・短生	97	0.2	198	0.4	316	0.5	492	0.7	1103	0.5
27	訪介・訪看・用貸・居指	170	0.4	236	0.5	309	0.5	349	0.5	1064	0.5
28	訪介・訪看・居指	340	0.8	268	0.5	244	0.4	211	0.3	1063	0.5
29	通り・短保	175	0.4	223	0.4	300	0.5	261	0.4	959	0.4
30	訪看・居指	390	1.0	256	0.5	187	0.3	121	0.2	954	0.4

(6) 介護給付における経年的な変化

1) 経年的に増加したサービスの特徴

制度発足時から継続して増加してきた介護保険サービスの中でもとくに前年比の増加数が高かったのは、痴呆対応型生活介護で前年比の平均値が 2.99 倍を示していた。福祉用具貸与も平均で 1.52 倍と高かった。通所介護も高く平均が 1.38 倍の伸びであった。特定施設入所者生活介護や短期入所生活介護といったサービスも 1.36 倍、1.31 倍と高い伸び数値を示していた。

一方、平均で減少していたサービスは、介護保険施設と訪問看護であった、介護保険施設は供給量も少なく、その伸びも低いサービスであった。伸びが低いサービスとしては、訪問看護が 1.01 倍、居宅療養管理指導が平均 1.03 倍と低かった。これらのサービスは、供給できる量が限られており、新規参入が難しいサービスといえる。同様に介護福祉施設や介護療養施設といった施設サービスは、ベッド数に制限があるため、増加ができないことから伸びは低くなっている。

表 III-2-22 平成 12 年度から増加しつづけた介護保険サービス (伸び率の降順)

	平成12年度	平成13年度	前年比(倍)	平成14年度	前年比(倍)	平成15年度	前年比(倍)	合計	前年比(倍)の 平均値
痴呆対応型共同生活介護	1,485,724	5,178,798	3.49	18,467,142	3.57	35,355,151	1.91	60,486,815	2.99
福祉用具貸与	10,908,767	21,101,341	1.93	29,723,152	1.41	36,101,599	1.21	97,834,859	1.52
通所介護	45,876,410	70,024,179	1.53	93,657,504	1.34	118,359,170	1.26	327,917,263	1.38
特定施設入所者生活介護	9,602,356	13,890,023	1.45	19,668,924	1.42	24,065,397	1.22	67,226,700	1.36
短期入所生活介護	14,900,919	19,868,952	1.33	28,032,694	1.41	33,156,090	1.18	95,958,655	1.31
訪問介護	63,337,990	92,811,347	1.47	114,422,454	1.23	128,867,353	1.13	399,439,144	1.27
居宅介護支援	21,114,576	26,967,242	1.28	32,377,292	1.20	43,206,752	1.33	123,665,862	1.27
訪問入浴	9,938,376	13,016,038	1.31	15,913,305	1.22	17,264,216	1.08	56,131,935	1.21
通所リハビリテーション	42,915,343	53,648,304	1.25	61,208,563	1.14	62,712,563	1.02	220,484,773	1.14

表 III-2-23 増加しなかった介護サービス (マイナス伸び率の降順)

	平成12年度	平成13年度	前年比(倍)	平成14年度	前年比(倍)	平成15年度	前年比(倍)	合計	前年比(倍)の 平均値
介護保健施設	113,975,393	124,609,657	1.09	116,813,286	0.94	107,134,571	0.92	462,532,907	0.98
訪問看護	22,006,040	22,568,186	1.03	22,486,053	1.00	22,866,906	1.02	89,927,185	1.01
居宅療養管理指導	6,608,720	7,440,682	1.13	8,028,630	1.08	7,191,700	0.90	29,269,732	1.03
介護福祉施設	149,161,205	158,222,631	1.06	182,711,759	1.15	180,741,196	0.99	670,836,791	1.07
訪問リハビリテーション	245,850	406,450	1.65	174,350	0.43	222,200	1.27	1,048,850	1.12
介護療養施設	70,823,694	67,896,454	0.96	92,932,077	1.37	110,001,487	1.18	341,653,712	1.17
短期入所療養介護 (老人保健施設)	5,885,472	10,301,896	1.75	17,341,194	1.68	16,760,541	0.97	50,289,103	1.47
短期入所療養介護 (介護療養施設)	493,374	2,061,941	4.18	3,070,426	1.49	2,438,409	0.79	8,064,150	2.15
福祉用具購入	29,158	1,650,667	56.61	2,795,893	1.69	2,410,999	0.86	6,886,717	19.72
住宅改修	28,113	5,811,402	206.72	10,170,885	1.75	8,063,222	0.79	24,073,622	69.75

2) 年度別介護サービス総単位数の伸び

平成 12 年度から 13 年度で前年比の伸びがとくに高かったサービスは、住宅改修、福祉用具購入で、前年比 206.72 倍、56.61 倍であった。この他に短期入所療養介護の 4.18 倍、痴呆対応型共同生活介護の 3.49 倍も、高い伸びを示していた。

この他にも福祉用具貸与の 1.93 倍、短期入所生活介護の 1.75 倍、訪問リハの 1.65 倍、通所介護 1.53 倍が 1.5 倍以上の伸びを示し、通所介護の 1.53 倍、訪問入浴の 1.31 倍、通所リハの 1.25 倍と多くの訪問系、通所系のサービスが大きな伸びを示した。

平成 13 年度から 14 年度において前年比で高い伸びを示したのは、痴呆対応型共同生活介護の 3.57 倍、住宅改修の 1.75 倍、福祉用具購入の 1.69 倍、短期入所生活介護(老人保健施設)の 1.68 倍、特定施設入所者生活介護 1.42 倍、通所介護の 1.34 倍、福祉用具貸与が 1.41 倍と平成 13 年度の伸びは低いが供給量が増加していた。

平成 14 年度から 15 年度においては、介護報酬改定がなされたことにより、前年比の伸びがマイナスになったサービスが他の年に比較して多かった。マイナス改定がなされた施設サービスは、前年比の伸びがマイナスになった。

このうち前年比で高い伸びを示したのは、痴呆対応型共同生活介護の 1.91 倍、居宅介護支援の 1.33 倍、訪問リハの 1.27 倍、通所介護 1.26 倍、特定施設入所者生活介護 1.22 倍、福祉用具貸与の 1.21 倍、介護療養施設が 1.18 倍、と平成 14 年度の伸び率よりはすべて低くなっていた。

表 III-2-24 平成 13 年度の前年度比 (伸び率の降順)

	平成12年度	平成13年度	前年比(倍)
住宅改修	28,113	5,811,402	206.72
福祉用具購入	29,158	1,650,667	56.61
短期入所療養介護 (介護療養施設)	493,374	2,061,941	4.18
痴呆対応型共同生活介護	1,485,724	5,178,798	3.49
福祉用具貸与	10,908,767	21,101,341	1.93
短期入所療養介護 (老人保健施設)	5,885,472	10,301,896	1.75
訪問リハビリテーション	245,850	406,450	1.65
通所介護	45,876,410	70,024,179	1.53
訪問介護	63,337,990	92,811,347	1.47
特定施設入所者生活介護	9,602,356	13,890,023	1.45
短期入所生活介護	14,900,919	19,868,952	1.33
訪問入浴	9,938,376	13,016,038	1.31
居宅介護支援	21,114,576	26,967,242	1.28
通所リハビリテーション	42,915,343	53,648,304	1.25
居宅療養管理指導	6,608,720	7,440,682	1.13
介護保健施設	113,975,393	124,609,657	1.09
介護福祉施設	149,161,205	158,222,631	1.06
訪問看護	22,006,040	22,568,186	1.03
介護療養施設	70,823,694	67,896,454	0.96

表 III-2-25 平成14年度の前年度比(伸び率の降順)

	平成13年度	平成14年度	前年比(倍)
痴呆対応型共同生活介護	5,178,798	18,467,142	3.57
住宅改修	5,811,402	10,170,885	1.75
福祉用具購入	1,650,667	2,795,893	1.69
短期入所療養介護 (老人保健施設)	10,301,896	17,341,194	1.68
短期入所療養介護 (介護療養施設)	2,061,941	3,070,426	1.49
特定施設入所者生活介護	13,890,023	19,668,924	1.42
短期入所生活介護	19,868,952	28,032,694	1.41
福祉用具貸与	21,101,341	29,723,152	1.41
介護療養施設	67,896,454	92,932,077	1.37
通所介護	70,024,179	93,657,504	1.34
訪問介護	92,811,347	114,422,454	1.23
訪問入浴	13,016,038	15,913,305	1.22
居宅介護支援	28,967,242	32,377,292	1.20
介護福祉施設	158,222,631	182,711,759	1.15
通所リハビリテーション	53,648,304	61,208,563	1.14
居宅療養管理指導	7,440,682	8,028,630	1.08
訪問看護	22,568,186	22,486,053	1.00
介護保健施設	124,609,657	116,813,286	0.94
訪問リハビリテーション	406,450	174,350	0.43

表 III-2-26 平成15年度の前年度比(伸び率の降順)

	平成14年度	平成15年度	前年比(倍)
痴呆対応型共同生活介護	18,467,142	35,355,151	1.91
居宅介護支援	32,377,292	43,206,752	1.33
訪問リハビリテーション	174,350	222,200	1.27
通所介護	93,657,504	118,359,170	1.26
特定施設入所者生活介護	19,668,924	24,065,397	1.22
福祉用具貸与	29,723,152	36,101,599	1.21
介護療養施設	92,932,077	110,001,487	1.18
短期入所生活介護	28,032,694	33,156,090	1.18
訪問介護	114,422,454	128,867,353	1.13
訪問入浴	15,913,305	17,264,216	1.08
通所リハビリテーション	61,208,563	62,712,563	1.02
訪問看護	22,486,053	22,866,906	1.02
介護福祉施設	182,711,759	180,741,196	0.99
短期入所療養介護 (老人保健施設)	17,341,194	16,760,541	0.97
介護保健施設	116,813,286	107,134,571	0.92
居宅療養管理指導	8,028,630	7,191,700	0.90
福祉用具購入	2,795,893	2,410,999	0.86
短期入所療養介護 (介護療養施設)	3,070,426	2,438,409	0.79
住宅改修	10,170,885	8,063,222	0.79

3) 介護サービス利用日数・回数の前年比の伸び

介護保険サービスは、それぞれのサービス毎に単位が異なっていることから、利用日数や回数が多くても単位数は多くないことがありうる。そこで利用日数および回数についても経年的な変化について分析した。

利用日数において、平成12年度から13年度で伸びがとくに高かったサービスは、痴呆対応型共同生活介護の3.52倍であった。次に特定施設入所者生活介護が1.49倍、訪問介護が1.48倍、通所介護が1.47倍、短期入所生活介護が1.34倍と、前年比で1.4倍を超える伸びを示していた。

一方、日数、回数で前年比での伸びが低かったのは、訪問リハビリで0.94倍と示された。

表 III-2-27 年度別介護サービス利用日数・回数の変化（伸び率の降順）

	平成12年度	平成13年度	前年比(倍)	平成14年度	前年比(倍)	平成15年度	前年比(倍)	合計	前年比(倍)の 平均値
痴呆対応型共同生活介護	1,772	6,242	3.52	22,316	3.58	42,404	1.90	72,734	3.00
特定施設入所者生活介護	16,060	23,919	1.49	33,956	1.42	40,443	1.19	114,378	1.37
通所介護	54,807	80,302	1.47	105,902	1.32	134,715	1.27	375,726	1.35
短期入所生活介護	13,594	18,195	1.34	25,744	1.41	31,482	1.22	89,015	1.33
訪問介護	164,288	243,815	1.48	304,382	1.25	345,477	1.14	1,057,962	1.29
居宅介護支援	28,089	35,960	1.28	43,426	1.21	49,994	1.15	157,469	1.21
居宅療養管理指導	9,998	11,368	1.14	12,148	1.07	17,633	1.45	51,147	1.22
訪問入浴	7,989	10,460	1.31	12,788	1.22	13,858	1.08	45,095	1.21
通所リハビリテーション	46,837	56,375	1.20	63,973	1.13	66,770	1.04	233,955	1.13
介護福祉施設	166,848	175,015	1.05	201,800	1.15	210,961	1.05	754,624	1.08
訪問看護	25,387	26,256	1.03	27,168	1.03	30,319	1.12	109,130	1.06

表 III-2-28 日数・回数が増えなかったサービス（伸び率が低い降順）

	平成12年度	平成13年度	伸び率(%)	平成14年度	伸び率(%)	平成15年度	伸び率(%)	合計	前年比(倍)の 平均値
介護保健施設	118,077	127,426	1.08	118,941	0.93	113,574	0.95	478,018	0.99
訪問リハビリテーション	447	739	1.65	317	0.43	398	1.26	1,901	1.11
介護療養施設	60,412	56,619	0.94	76,767	1.36	87,747	1.14	281,545	1.15
短期入所療養介護 (老人保健施設)	5,135	8,808	1.72	14,890	1.69	14,745	0.99	43,578	1.47
短期入所療養介護 (介護療養施設)	345	1,661	4.81	2,542	1.53	2,173	0.85	6,721	2.40